

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	琉球大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	リュウキュウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F147110111736
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	沖縄県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	インターンシップ III
	学部・研究科等名	工学部工学科
	担当教職員名・役職	宮田龍太・助教、照屋功・准教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	1
	受入企業等数	1
	受入企業等名	テクノシステム株式会社
	インターンシップの分類	9.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	IT企業での新システム開発を体験すべく、社員監修のもとで学生主体のグループワークを行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	就職活動を直前に控えた学部3年次を対象に、夏または冬休み期間中でのインターンシップ実施を想定した集中講義として実施している。本科目では、学生の主体性に基づくより高い就業意識と職業観の育成や専門分野への理解を促す。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他

要素③	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	学生が定期的にメールで教員に実施内容の報告や課題の確認を行なっている
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	2大就活ナビであるリクナビ・マイナビから講師を1名ずつ招へいし、3年次前期の初週2回に渡り、それぞれ90分程度で就職活動でのインターンシップの重要性や企業研究、エントリー方法に関する講演を実施いただいている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	就業体験と自らの学びがどのようにつながったのかを振り返る目的で、就業内容の要約と感想に関する報告書（レポート）を終了後2週間以内に提出するよう学生に指導している（別紙1参照）。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	教員がインターンシップ開始前と初日、最終日に学生とメールのやり取りを行い、欠勤などのトラブルなくインターンシップを実行できているかの確認と学生が期間中に作成する記録表のつけ方について指導している（別紙2参照）。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	別紙1の報告書の作成により、学生のインターンシップ前後の変容を客観的に把握し、学生の自己理解を促す。これまでの学修の深化や今後の大学教育への動機づけに資するような指導を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	定期的にオンライン開催される同一企業の一貫した課題に合計5日間以上
	5-3.上記回答内容に関する詳細	基本的には「1.連続した5日間以上」を想定していたが、コロナ禍で5ヶ月間で月1回のオンラインインターンシップを計5回実施する（企業が学生にオンライン会議ツール経由で課題提示と進捗確認を行い、その日以外で学生は課題に取り組む）形態に対応すべく、「4.その他」を選択した
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	別紙2にある記録表の通り、学生が記入した実習内容の要約を企業側の監督者が確認印を押す欄があり、学生が内容を的確に把握できたかの判断ができるよう設計しており、気になる点は先方が備考欄に記入できるようにしている。

	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SyllabusSearchStart.aspx?staff=1&amp;lct_year=2021&amp;lct_cd=610028021&amp;je_cd=1">https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SyllabusSearchStart.aspx?staff=1&amp;lct_year=2021&amp;lct_cd=610028021&amp;je_cd=1</a>
問い合わせ先	大学等名	琉球大学
	担当部署名	工学部工学科
	担当者役職名	助教
	担当者氏名	宮田龍太
	電話番号	098-895-8620
	メールアドレス	<a href="mailto:miyata26@tec.u-ryukyu.ac.jp">miyata26@tec.u-ryukyu.ac.jp</a>